

## 2370 | テキスタイル基礎実習 I

2 単位 (面接授業 2 単位)

鈴木純子准教授

## 授業の概要と目標

工芸は、自然から得た素材を主な材料として生活の用具を制作する事である。素材の開発や制作技術の工夫、生活様式の変わり様が工芸の変遷を形成するが、基本的には自然素材に根ざした技術と造形の洗練さにその本質を見ることができる。ここでは伝統的基礎技術を実習することで素材と造形、制作技術と用途など工芸制作の基本に触れ、さらには今日の生活とモノの在り方について考察する。

この科目では、テキスタイルの基礎技術である、卓上機による製織とオフルームによるタペストリーの制作をとおして、その歴史と技法を学ぶ。卓上機では織機の機能と織構造を理解し製織する。オフルームとは織機 (LOOM) を使わない織りの技法で、木枠の道具を使い、織る、結ぶなどの技法により表現の違いを学ぶ。

なお、この科目は 2013 年度まで開設された「工芸Ⅲ」の素材別テキスタイルクラスと同一の内容である。

## 課題の概要

## ○面接授業課題

アートへの展開とタペストリー制作の為の OFF LOOM 研究  
布を成立させる〈織〉の構造 (組織) と並置混色研究

## 授業計画

## [面接授業]

〈OFF LOOM〉(3 日間)

1. タペストリーの技法の講義、フリードローイング、トリミングから制作
2. OFF LOOM による製織
3. 作品制作、プレゼンテーション、講評

〈織〉(3 日間)

1. 織の構造と色彩の講義、製織準備
2. 卓上機による製織
3. 作品制作、プレゼンテーション、講評

## 成績評価の方法

面接授業の最終日に提出された作品やプレゼンテーションで評価し、授業態度等を加味する。

## 履修条件及び履修年次

[履修年次] 1～4 年次

[履修条件] なし

[備 考] 履修年次は問わない。

- ・2013 年度まで開設の「工芸Ⅲ」テキスタイルクラスを受講者は異なる素材の基礎実習を受講することが望ましい。
- ・受講人数を制限する場合がある。
- ・工芸工業デザイン学科生活環境デザインコース進学希望者で、クラフトデザイン系テキスタイルクラスを選択する場合は、1・2 年次において「テキスタイル基礎実習Ⅰ・Ⅱ」を履修していることが望ましい。
- ・工芸工業デザイン学科生活環境デザインコースへの進学希望者は、素材別基礎実習Ⅰ・Ⅱの科目の他、工芸Ⅰ・Ⅱの履修を勧める。

## 教材等

参考資料：横溝健志 監修『工芸』(武蔵野美術大学出版局 2002 年)

田中秀穂 監修『テキスタイル 表現と技法』(武蔵野美術大学出版局 2007 年)